



明るさと
やさしさ いっぱい
本町小



千葉市立本町小学校
校長 樋口 雅也

本校は、千葉市内でも最も歴史のある学校の一つとして、明治6年(1873年)、現在の千葉神社である妙見寺を仮校舎として「池田小学校」として開校し、明治40年に現在の地に移転しました。時代の推移により、何度か校名変更がなされましたが、昭和22年の新学制により「千葉市立本町小学校」と改称され、現在に至っています。今年、創立154年目を迎えます。

明治以来、子どもの自主性や主体性を大切に、常に時代を先取りした教育研究・実践を積み重ねてきた本校の教育活動は、市内はもとより県下、全国的にも高い評価をいただけてきました。これは、歴代の教職員の研鑽と努力のみならず、保護者や地域の皆様の長年にわたる深いご理解と愛情あふれるご支援の賜物であると考えております。今年度は、千葉市の研究指定校として2年目を迎え、「学ぶことを楽しむ児童の育成」を主題に研究に取り組むとともに、「全国小学校理科研究協議会研究大会千葉大会」の会場校として、11月19日(木)～20日(金)の公開研究会を開催いたします。

本校は4月現在、全校児童数349名、特別支援2学級を含む14学級でスタートしました。「自主 自律 自学」を校訓とし、学校教育目標である「人間性豊かな 自主的 創造的 実践力のある子どもの育成」の具現化に向け、日々の教育活動を展開しています。

今年度は「明るさとやさしさいっぱい本町小」をテーマとして、気持ちの良い挨拶や歌声の響く学校づくり、相手の立場に立って考え、一人一人の個性を認め合うことができる子どもの育成に重点を置いて学校経営を進めてまいります。

正門脇には、樹齢約120年の「一本杉」があります。本校のシンボルであり、全校の児童や地域の方々から愛されています。この「一本杉」のように、成長し続ける子ども、職員、そして学校でありたいと思っています。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。